

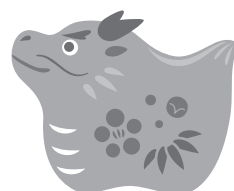


曾根崎交通安全協会
曾根崎自家用自動車部会
〒530-0027
大阪市北区堂山町1-5
三共梅田ビル6階611号室
TEL (06) 6315 - 8505
FAX (06) 6315 - 8506
制作・印刷 (株)タップハウス



謹 賀 新 年

本年もよろしくお願い申し上げます
令和6年 元旦



曾根崎交通安全協会
会長 中野由彦
役員一同

曾根崎警察署
署長 山野 聡
署員一同

年頭のご挨拶

曾根崎交通安全協会
会長 中野由彦

明けましておめでとうございます。

昨年中は、当協会の業務運営並びに交通安全諸活動推進に格別のご支援ご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、多くの方々は新年を祝い、希望に満ちた年明けを過ごされた事と思いますが、元旦に「能登半島地震」が発生し、多くの家屋の倒壊・損壊、さらには津波・火災や、お正月を家族で過ごすため、夫を残し妻の実家へ家族揃って帰省中、大きな揺れで地滑りにより倒壊した家屋の下敷きになって亡くなられた家族等、地震列島に住む宿命といえども余りにも不幸な被害で、改めて地震の怖さを思い知らされました。

一方、諸外国に目を向けますと、ロシアのウクライナ侵略は長期化し、イスラム原理主義組織ハマスが、イスラエルを奇襲し多くの人質をとり、イスラエルが反撃に転じハマスを壊滅させるまで戦闘を続けると公言し、ガザ地区に住むパレスチナ人の多くの市民が犠牲になっています。

アジアでは、台湾海峡を挟んで、中国と台湾問題、東シナ海へ国際法を無視した中国の覇権主義的な進出等々、日本を取り巻く情勢は益々厳しさを増すものと思われます。

国内では、自民党の裏金問題で法律で義務づけられた、収支報告書未記載で検察庁に逮捕される国会議員まで出る始末。

明るいニュースでは、38年振りに日本一になった阪神タイガース、ドジャースに1千億円超で入団した大谷翔平、今年も、それぞれの活躍が期待されるところです。

当協会として一番関心の深い交通死亡事故発生状況は、警察庁のまとめでは、平成27年以来8年振りの増加で、2678人の尊い命が失われました。

大阪府下では、一昨年以来懸案の交通死亡事故抑止は叶わず、令和5年もワースト1位で、2年連続ワースト1位と残念な結果でした。

交通死亡事故のニュースは、痛ましく犠牲家族の思いを察すると、交通安全諸活動の重要性を再認識させられます。

多くの交通事故はヒューマンエラーに起因するものが多い事は知られている通り、昨年12月東京都杉並区で発生した、自動車整備工場からバックで出てきた車に、母子2名がはねられ即死する悲惨な交通事故です。亡くなった2人は、夫婦と子供2人の家族4人で歩道を歩行中、前を歩いていた母子2人が犠牲になったようです。

報道によりますと、まさに、車両は工場から歩道に進出する際、一時停止し安全確認をしなかったヒューマンエラーが原因ではないかと思います。

〈次ページへつづく〉



危険予測と安全確認さえ怠らなければ多くの命が奪われる事が少なくなると思われます。

協会としましては、曾根崎警察署はもとより、関係機関・団体と緊密に連携し、効果的且つ実効性が挙がる施策への参画支援や、各種キャンペーン、交通安全教育資器材の充実、啓蒙・啓発品の提供等で交通安全諸活動を活発に推進し、一人ひとりが交通ルールの遵守と交通マナーの向上を目指し、交通安全意識を高める活動を積極的に実施していきます。

今後とも皆様方の温かいご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様方の益々のご発展と、ご家族のご多幸、ご健勝を心から祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

大阪府警察本部

交通部長 丸山直紀

明けましておめでとうございます。

皆様におかれましては健やかに新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、平素は、交通警察業務はもとより、警察行政の各般にわたり、深いご理解とご支援・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、去年は、新型コロナウイルスの5類移行により、府下の社会経済活動全般が活気に満ちあふれるようになり、大阪城、道頓堀、通天閣等の観光名所では、多くの外国人観光客で賑わっています。

また、来年に迫った、大阪・関西万博の開催に向け、更なる盛り上がりが期待される所でありま。

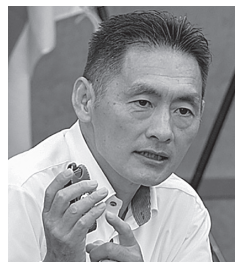
そのような中、私が着任いたしました昨年3月以降の交通事故情勢は、統計史上初の全国ワーストとなった前年をさらに上回るペースで交通死亡事故が発生しており、年内を見ますと、4月と11月には交通死亡事故が相次ぎ発生したことを受けて、大阪府知事による「交通死亡事故多発警報」が発令されるなど、非常に厳しい交通情勢でありました。

このような情勢を変えるべく、府警では、死重傷事故の分析を徹底し、その対策として、関係機関・団体の皆様にご協力いただき、「いらち運転」の撲滅を推進するとともに、府警一丸となって、6～8月には速度取締りを、年末にかけては交差点における取締りを徹底いたしました。

また、自転車のヘルメット着用の努力義務化を受け、広報啓発・交通安全教育と、企業・学校等への個別の働きかけとを両輪として、その着用促進を図るとともに、自転車の取締りを強化するなど、皆様のご協力をいただきながら、様々な諸対策を実施いたしました。

本年も、悲惨な交通死亡事故を一件でも減らすべく、交通事故の撲滅に向け、警察として執るべき各種対策を強力に推進するとともに、府民が安心して暮らせる「安全なまち大阪」の確立に向けて邁進してまいり所存でありますので、引き続き、ご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、一般財団法人大阪府交通安全協会並びに地区交通安全協会の益々の御発展と、皆様の御健勝、御多幸を心から祈念申し上げ、新年の御挨拶とさせていただきます。



年頭のご挨拶

曾根崎警察署

署長 山野 聡

あけましておめでとうございます。

皆様方には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

平素は、交通安全活動をはじめ、警察行政の各般にわたり、深いご理解とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、昨年の交通事故発生状況を見ますと、当署管内では、発生件数、死者数、負傷者数ともに前年より増加し、6月には、自転車と自動車衝突する交通死亡事故が発生しました。また、大阪府下全体におきましても、発生件数、死者数、負傷者数ともに前年より増加し、特に死者数については148人で2年連続全国ワーストとなるなど、非常に厳しい状況にあります。

このような中、去年は新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、様々な制約が徐々に緩和されたこともあり、各種広報啓発活動及び交通指導取締りを活発に展開して参りました。

昨年の主な取組といたしましては



- ・歌手塩乃華織氏に一日警察署長を委嘱
「春の全国交通安全運動前日キャンペーン」
- ・キッズプラザ大阪において「そねぎ警察署安全・安心フェア」
- ・「秋の全国交通安全運動北区交通安全大会」
- ・自転車、特定小型原付の集中取締り
- ・多目的検問での整備不良車等の一斉取締り
- ・タレント三戸なつめ氏に一日警察署長を委嘱
「年末の交通事故防止キャンペーン」

など、各種メディアを積極的に活用し、効果的な交通事故抑止対策を行うことができました。

これもひとえに貴会及び会員の皆様方のご協力のお陰であり、心より御礼申し上げます。

本年は、前年より一層交通安全活動を活発に行い、悲惨な交通事故を1件でも減少させるよう、署員一同全力で取り組んで参りますので、引き続き、格別のご支援、ご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

結びに、曾根崎交通安全協会・自家用自動車部会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝、ご多幸を心から祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

令和5年の交通事故発生概況について

大阪府下の交通事故死者数は148人前年比+7人でした

- 1 交通事故の概況
 - 件数、死者、負傷者数とも増加しました。
 - 死者数は、2年連続全国ワースト1位でした。
- 2 交通死亡事故特徴的傾向
 - 歩行者が54人(前年比+9人)で、全死者数の約37%
 - 自転車乗車中が37人(前年比+8人)で全死者数の55%
 - 二輪乗車中が36人で、全死者数の約24%
 - 高齢者の死者数は81人(前年比+9人)で、全死者数の約37%
 - 高齢者の内75歳以上(56人)前年比(+21人)で、全死者数の約38%
- 3 交通死亡事故の発生時間帯
 - 昼間(午前6時から午後6時)が90人(前年比+16人)で、全死者数の約61%
 - 時間帯別では、12時から14時が22人(前年比+10人)と最も多いく昼間死者数の24%
- 4 道路形状
 - 交差点及びその付近が99人(対前年比+12人)で、全死者数の約67%



令和5年 全国の交通死亡事故(ワースト10の都道府県)

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
都道府県	大阪	愛知	東京	北海道	千葉	埼玉	神奈川	福岡	兵庫	茨城
死者数	148	145	136	131	127	122	115	103	103	93
前年比	+7	+8	+4	+16	+3	+18	+2	+28	-17	+2

大阪府内の交通事故

区分	年	令和5年	令和4年	前年対比	増減率
件数		25,892	25,442	+383	+1.5%
死者数		148	141	+7	+5.0%
内高齢者		81	57	+24	+42.1%
負傷者数		30,016	29,671	+256	+0.9%

曾根崎警察署管内の交通事故

区分	年	令和5年	令和4年	前年対比	増減率
件数		249	227	+22	+9.7%
死者数		1	0	+1	—
負傷者数		296	268	+28	+10.4%

※交通事故件数等は速報値です

令和6年使用 交通安全年間スローガン

内閣総理大臣賞
(最優秀作)

【一般部門A】(運転者(同乗者を含む)へ呼びかけるもの)
今日もまた あなたの無事故 待つ家族

【一般部門B】(歩行者・自転車利用者に呼びかけるもの)
身につけよう 交通ルールと ヘルメット

【こども部門】(こどもたちに交通安全を呼びかけるもの)
わたるまえ わすれずかくにん みぎひだり

緊急地震速報

の仕組みと発令された時の 運転手の措置について

令和6年元旦に発生した「能登半島地震」では、マグニチュード7.6(最大震度7)の強い揺れで、家屋の倒壊、火災の発生、土砂災害等で多くの方々の人命が失われ、未だ所在の分からない方々が多く、救助が急がれているところです。

更に、連日、震度6や5の強い揺れが発生し救助活動を遅らせている原因となっています。

震災後、救助・救難を阻害し人命の問題となるのは円滑な道路の交通確保です。

道路交通法に定める「交通の方法に関する教則」には「**緊急地震発令時の運転手の取るべき措置**」について記述されています。

- 「交通の方法に関する教則」 第三節第3号では、大地震が発生した時の措置として、
- ア 急ハンドル、急ブレーキを避け道路の左側に停止させる。
 - イ 停止後は、カーラジオ等により情報や交通情報を聞き、その情報等に応じた行動をとる。
 - ウ 引き続き運転する時は、道路損壊、信号機作動状況、道路上の障害物などに注意すること。
 - エ 車を置いて避難するときは、空き地など出来るだけ道路外に移動しておくこと。
 - オ やむをえず路上に車を置いて避難するときは、
 - 道路左側に駐車し、避難や災害応急対策の妨害となる方法で駐車しない。
 - エンジンを止め、キーは付けたままとし、窓を閉めドアロックしないこと。
- と注意喚起している。

緊急地震速報のしくみ

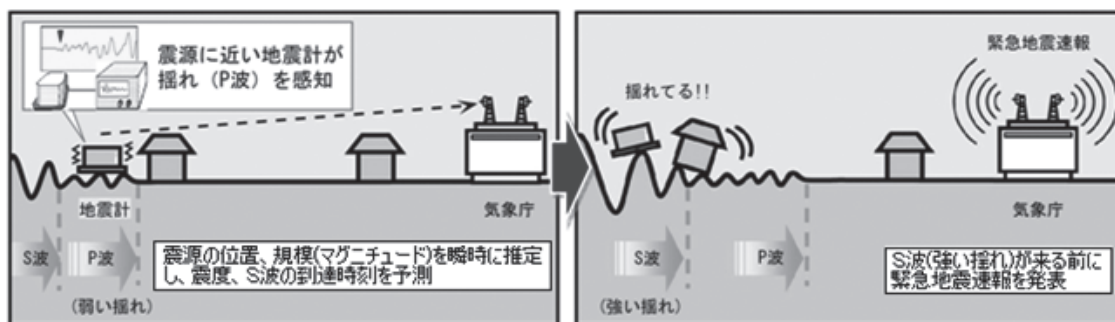
地震が発生すると、震源からは揺れが波となって地面を伝わっていきます(地震波)。

地震波にはP波(Primary「最初の」の頭文字)とS波(Secondary「二番目の」の頭文字)があり、P波の方がS波より速く伝わる性質があります。

一方、強い揺れによる被害をもたらすのは主に後から伝わってくるS波です。

このため、地震波の伝わる速度の差を利用して、先に伝わるP波を検知した段階でS波が伝わってくる前に危険が迫っていることを知らせることが可能になります。

「P波」能登半島地震の際、携帯電話(スマホ)の地震速報には「〇〇秒後に大きな揺れがあります」とのメッセージ表示されました。
(例:熊取町の場合52秒後)



速度

P波: 秒速約7km

S波: 秒速約4km

(気象庁ホームページより)

(一部平成30年9月20付け 協会だより187号の再掲です。)